

9章 データを削除しよう

9章 データを削除しよう

SQLによるデータ操作のうち、削除について学びます。

本章の目標

- SQLでテーブル内のデータを削除する方法を知ること

9章 データ削除の必要性

前章まで、テーブル内のデータを検索したり、追加更新する方法を学びました。

本章では、SQLによるデータ操作の基本である削除について学びます。

- Twitterのような投稿アプリを例にすると、「投稿一覧の表示」「新規投稿」「投稿の編集」に続いて、「投稿の削除」にあたる操作も必須
- アプリやサービスを開発するうえでは、データを削除する操作方法も覚える必要がある
-

9章 DELETE文の書き方

DELETE文の基本的な書き方は以下のとおりです。

-- 条件式に当てはまるデータを検索し、削除する
DELETE FROM テーブル名 **WHERE** 条件式;

構文の説明

- **FROM**のあとにテーブル名を記述
- **WHERE**のあとに「どのデータを削除するか」を判定するための条件式を記述
- 基本的には削除したいデータの**id**を指定する

-- 条件式に当てはまるデータを検索し、削除する
DELETE FROM テーブル名 **WHERE** 条件式;

重要なポイント

- **DELETE文**でテーブル内のデータを削除
- **DROP文**ではなく、DELETE文を使う
- WHERE句で削除対象を指定（通常はidを指定）